



青木ゆうすけ 市議会報告

令和元年

第3回
定例会

東久留米市議会議員の青木ゆうすけです。多くの皆様からご支援をいただき、先の市議会議員選挙にて当選させていただくことができました。皆様からいただいた市の課題点の改善、選挙公約で掲げた4つの街づくりに向けて、誠実に活動して参ります。

連絡先 | TEL:090-4466-0195
E-mail:yusuke1107aoki@gmail.com [@yusuke_aoki_sdp](https://twitter.com/yusuke_aoki_sdp)

9月3日～25日にかけて、市議会令和元年第3回定例会が開催されました。

青木ゆうすけは、本会議初日、一般質問、総務文教委員会、予算特別委員会、本会議最終日にそれぞれ質問・討論を行いました。

Q1 | LGBT支援について

一般質問

青木 LGBTパートナーシップ制度について、大きな意義があるものであり、本市でも導入を行うべきと考えている。府中市でもパートナーシップ制度が導入されたが、本市は導入を行う考えはあるのか？

答弁 引き続き他市の動向を注視し、調査・検討していきたい。

青木 検討委員会の設置や、ニーズ調査などを行い、導入に向けて前向きに進めていただきたい。

※LGBTとは…LGBTとは、Lesbian(レズビアン、女性同性愛者)、Gay(ゲイ、男性同性愛者)、Bisexual(バイセクシュアル、両性愛者)、Transgender(トランスジェンダー、性別越境者)の頭文字をとった単語で、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)の総称のひとつです。(出典:東京レインボープライドHP)

Q2 | 家庭ごみ有料化について

一般質問

青木 家庭ごみ有料化の際に、容器包装プラスチックを有料とした理由について伺う。また40Lの不燃ごみの袋の製造の要望があるが、市の考えを伺う。

答弁 分別排出の徹底、夾雑物の混入によりリサイクルに多大なコストがかかることから有料化している。40Lの不燃ごみ袋は粗大ごみ混入の恐れがあり、作成していない。

青木 袋の値下げは、過去の議会で減量の状況をみて検討するとの答弁であったが、最新の排出量は？

答弁 1日1人当たりのごみ量は525.8gであり、ごみ減量と資源化率は進んでいると思われるが、令和3年度目標の505gの達成には至っていない。現時点で処理手数料の見直しは行う予定はない。

青木 多摩26市の中で、1位府中市が520.5g、本市が2位という状況。有料化を行ってきた他市でも本市の目標値までは下がっていない。そもそも目標数値の設定がおかしいのではないか。

答弁 目標値の問題だけでなく、ごみの減量、公平な負担、意識の向上などの目的があるので、市民の皆さまにご協力いただきながら進めていきたいと考えている。

青木 すでに多摩26市で2番目に少ないという状況であり、市民の方々は努力をしている状況である。早期に値下げに向けての検証を求める。

☆毎年排出量をチェックし、引き続き値下げを行うべきと議会で主張して参ります。

Q3 | ふるさと納税について

一般質問

青木 ふるさと納税の流出額は大きいと伺っているが最新の状況は。

答弁 平成31年度課税についてふるさと納税利用者4,400人、税額控除額1億8,600万円、当市への納入は平成30年度で9件19万円となっている。

青木 交付金補填があるといえど大きな流出である。効果的なPRや使い道を検討すべきと考える。例えば市外の方が来訪する施設にPRパンフレットを設置できないか。

答弁 パンフレットを作成しても市外の方の目に留まる場所と考えると難しい。贈呈品のPRとしても、特産品の一部でしかないのが難しい。

青木 ふるさと納税については、市民の方々に知ってもらうことも大事である。再度検討をお願いしたい。続いて寄付金の使用用途について伺う。使用用途が具体的

でなくわかりにくい。細分化できないか。

答弁 寄付者からの指摘はないが検討していく。

青木 寄付金用途の細分化によって、市民からの寄付も期待できる。流出の大きい世田谷区では、用途をわかりやすくして区内在住者向けのアピールを行っている状況である。是非進めていただきたい。

本市でも課を超えた横断的なプロジェクトを行っていただきたいと思うが、副市長に見解を伺う。

答弁 今まで通りのやり方では、流出は防げない。様々な形のチャレンジをしていく必要がある。市民の方から良い提案があれば積極的に検討していきたい。

Q4 | デマンド交通について

一般質問

青木 高齢者の方々からデマンド交通はわかりにくいという声がある、どのように理解を広げていくのか。

答弁 広報の全戸配布やチラシを作成し対応していく。高齢者や子育て世代を所管する部署とも連携を図りわかりやすい案内につとめていく。

青木 デマンド交通実験運行の期間中に、コミュニティバス等の地域公共交通の充実を再度検討していただきたいが、市の考えは。

答弁 引き続き地域公共交通の充実に向けた検討は続けていく。

▼市内で開催されたわんぱく相撲のお手伝いを行いました。(2019年5月上旬)



▲社民党立川駅前街宣活動
(写真左: 福島みずほ参議院議員)
(2019年6月下旬)



▲議会の合間に駅頭宣伝を行っています。
(2019年9月)

Q5 | 保育園待機児童対策について

一般質問

青木 保育園の定員枠の確保については、待機児童が出ている現状、量の見込みを大きく上回るように設定すべきであると考えているがいかがか。

答弁 大きく空き定数が増えてしまわないように調整していく。

青木 空きについては、現状の待機児童数を見ても余裕があるとは言えない。東部地域で安心して子供を預けられる環境をつくり、待機児童0を目指すためには、しんかわ保育園の廃園を行うべきではないと主張する。

学童保育の民間委託について

今、市議会で大きな問題となっているのが学童保育所の民間委託です。三月議会の市長施政方針にて市長より、学童の民間委託と延長保育導入についての方針が発表されました。あまりに拙速なスケジュールであり、職員配置要件の緩和が行われることから、私は学童の民間委託について強く反対しています。

本定例会においても各会派から質問が相次ぎましたが、納得できる答弁はほとんどありませんでした。他市でも民間委託は進んでおりますが、多くの自治体では1年以上かけて慎重に検討を重ね、事業者の選定を行っています。市民からも不安の声が上がっている委託計画については見直すべきです。

青木ゆうすけプロフィール

1991年名古屋市西区に生まれる。
愛知県立明和高等学校卒業。
早稲田大学人間科学部卒業後、都内不動産会社に勤務。
2019年4月の東久留米市議会議員選挙に社会民主党公認で立候補し、当選。
社会民主党三多摩地区本部幹事、同東久留米総支部市民協働委員。
滝山団地1街区12号棟506号室在住